NEWS LETTER

今年度の事務局体制について

今年度も昨年度と同じメンバーで活動していきます。今年度もよろしくお願いいたします。

センター長
青山公三

企画会議委員
小沢修司
藤沢実
杉岡秀紀（企画調整マネージャー）

研究員
村山紘子

これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー

報告

第６回セミナー

平成25年３月21日（木）、前衆議院議員／元ニセコ町長の逢坂誠二（おおさかせいじ）氏をお迎えし、連続自治体特別企画セミナーを開催しました。元神奈川県逗子市長/現龍谷大学教授の富野暉一郎先生にもお越しいただき、最後にはコメントも頂きました。

逢坂先生は、1988年から1989年にかけて行われた「ふるさと創生一億円」事業をきっかけに、政策決定のプロセスに非常に大きな関心を割くようになり、住民が参加できていることや政策決定の内容が表に出ていて、いかに住民がその内容について理解できるか、伝わっているかが、政策に対する住民の納得度合いを高めるキーワードではないかと感じたそうです。

そしてその６年後ニセコ町長になったときの目標は次の２つでした。１つは行政職員の資質を高めること。２つめは、情報共有、住民参加、あるいは議論のプロセスをしっかりすることです。逢坂先生は町長に当選後、この２つを実現するべく実行に移します。職員研修の予算は10倍にしました。情報共有、住民参加については、今後、まちづくりや自治の営みをする際の作法として必須のものとしました。これがニセコ町まちづくり基本条例の始まりです。

この条例によって、住民がニセコのまちづくりのスタイルを認識するようになり、それぞれの年齢でその年齢に応じたまちづくりへ参加してきた子どもたちは、自分の言葉で自分の意見を主張し、自分がそれに対して影響を与えることができるという実感を持っているようです。

＊詳しい内容はHPに掲載しています。

【参加者の声】

・「情報が権力」という意識しない話が最後に重くのしかかりました。

・「マイナスも考え方次第でプラスになる」という話が印象的でした。また、地方職員には、地域の特性を生かした取組を行う、柔軟な発想が必要だと感じました。

・大変貴重なお話を聞かせていただきました。今後、私自身の生き方にも影響する講義でした。

お知らせ

平成２５年度　第１回セミナーのご案内

「ドイツの地方都市はなぜ元気なのか？
ー小さな街の輝くクオリティ」

６月１２日（水）16：10〜18：00

対象者：自治体職員・議員、研究者、学生等
場　所：京都府職員研修・研究支援センター２F　大研修室

講　師　　：高松 平藏（たかまつ へいぞう）氏（国際環境ジャーナリスト）
コメンテーター：川勝 健志（かわかつ たけし）准教授(京都府立大学公共政策学部)

【略歴】ジャーナリスト。ドイツの地方都市エアランゲン市（バイエルン州）に在住。1996年創業の京都経済新聞社の立ち上げに参画。1998年からエアランゲン市での取材を開始する。いったん日本に帰国するが、2002年から再び同市に。

これまでの取材分野は環境問題、IT、文化・芸術、経済など多岐にわたるが、いずれもエアランゲンおよび周辺地域で取材。日独の生活習慣や社会システムの比較をベースに地域社会のビジョンをさぐるような視点で執筆している。　（高松氏のウェブサイトより）

※詳細は後日KPIホームページ等に掲載いたします。

お知らせ

ブックレットを発刊しました

『地域貢献としての「大学発シンクタンク」京都政策研究センター（KPI）の挑戦』

KPIではこの度、平成21年９月の設立からこれまでの活動を振り返る、ブックレットを発刊しました。今後のKPIの活動とあわせて、本書でもKPIのことをより皆様に知っていただければ幸いです。

＊内容＊
第１章：KPI設立背景
第２章：シンクタンクとしてのKPIの役割
第３章：KPIの機能と活動
第４章：京都府からみた、大学発シンクタンクの意義
資料編
コラム（京都府職員・京都府立大学教員計12名）

お知らせ

京都府との「協働研究」が決定しました

KPIでは、毎年京都府との協働研究を実施しています。今年度は以下の３つのテーマについて研究を実施します。

①市町村行革支援プログラム（協働研究先：総務部自治振興課）
②人材確保のあり方に関する調査研究（協働研究先：人事委員会事務局総務任用課）
③薬物乱用防止相談（北部地域）支援体制検討事業（協働研究先：健康福祉部薬務課）

KPIリレーコラム

企画会議委員　藤沢 実

府大教員生活も２年目の春を迎えました。今年度は、新入生ゼミを担当することとなり、入学式翌日の４月５日が初顔合わせのゼミ初日となりました。

ゼミ運営初心者マークの私は、少々緊張気味でアイスブレイクのジョークを飛ばす余裕もありませんでしたが、快晴の空の下での記念撮影では、新入生達のとびきり素敵な笑顔を観ることができて、とてもうれしくなりました。

縁あってともに学ぶ機会に恵まれた新入生達が、少しでも視野を広げる手助けができればと思います。そして、それがＫＰＩの活動に関心を持ってもらえる日に繋がることを楽しみにしています。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1−5
Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

２０１３年５月１日発行